

第 7 5 回 病 診 連 携 委 員 会 要 録

日 時 平成28年5月30日（月） 午後7時45分

場 所 浪速区医師会 会議室

出 席 者 浪速区医師会 7名

南医師会 2名

大正区医師会 2名

泉尾病院 2名

大正病院 2名

愛染橋病院 2名

育和会記念病院 2名

大野記念病院 2名

思温病院 2名

多根総合病院 1名

富永病院 2名

なにわ生野病院 1名

日生病院 1名

地域包括支援センター 1名

浪速区医師会事務局 1名

議 題

1. 第74回病診連携委員会報告について（資料1）

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. 泉尾病院の病診連携への取り組みについて

泉尾病院は泉尾医療福祉センターの中核施設として位置しており、2つの特別養護老人施設、1つの軽費老人ホーム、2つの障害者支援施設、その他包括支援センターや訪問看護ステーションで構成されている。目指す方向性としては、平成18年に泉尾第2病院と統合しこれまでの急性期医療だけでなく、大型のケアミックス（450床）として、地域包括医療のモデルとして、また専門性を高める医療も同時に目指しているとのこと。診療科として22診療科4センターを有しており、常勤医52名、非常勤34名、リハビリステーションセンター、透析センター、健診センター、地域ケア支援センター（平成26年新設）、等を保有している。病診連携の取り組みとして、開放病床の運営、在宅療養後方支援病院、がんパスの推進、周術期口腔ケアの推進、病診連携研修会の開催、トータル医療ネットワークへの参加等を通じて行っているとのこと。

3. 大正病院の病診連携への取り組みについて

在宅療養へのサポート、あんしん病院を目指してとの副タイトルのもと、泉尾病院、大正区医師会と連携しながら、急性期と慢性期の橋渡しの立ち位置であるとのこと。方向性としては在宅療養支援として訪問診療の実施、後方支援機能として、また在宅診療支援、復帰支援等を行っている。中でも在宅診療支援は、他の施設では珍しく、在宅医が休暇や学会出張時、もしくは在宅患者の悪化時に在宅医になり変って病院で対応するシステムであり、特徴的である。事前の登録があれば対応可能となり、在宅療養あんしん病院として樹立されている。看取り制度も行っている。

4. 大正区医師会の病診連携への取り組みについて

大正区内では病院と診療所との連携はある程度確立されてきている。医師会としては、第2週金曜日に大正区、浪速区、港区、西区の多職種が合同で行う勉強会を開催しており、30年間、約140回の開催を行ってきている。ほとんどは泉尾病院、大正病院で対応が来ているのだが、その他の地域との病院との連携も深める事でより広域な医療トータルネットワークが構築されている。ICTに関しては、病診連携野要となるようなものを積極的に考えていきたいとのこと。その中でブルーカードもぜひ取り入れていくことを考慮しているとのこと。

5. ブルーカードの追記箇所について

「☐ CPRまたはDNAR ☐ 自宅看取り」の項目を追加する。

6. 本会の在宅医療連携の現状について

今後も地域の先生、医療機関と連携を取りながら進めていく方針。

7. その他

(1) ブルーカードの登録件数

合計619件 浪速区内567件、他地区52件

使用状況（のべ件数） 合計552件 浪速区521件 他地区31件

5月1日からのカード動向合計27件 新規8件 入院1件 死亡0件

(2) 開催日程について

次回より、奇数月のみの開催に変更。

次回会議予定 平成28年7月25日（月）午後7時45分～